

Title	詞林 第21号 編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	詞林. 1997, 21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67401
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

開花の時期に降り続いた雨によつて、今年の桜はそのもつとも美しい姿を人々に見せる機会を逃してしまつたかに見える。それだけに、雨上がり、薄紅色を帯びた小さな花びらが一面に散り敷いた姿が、とりわけ印象に残る春となりました。雨は、満開の桜の下での宴会の楽しみを奪つたかわりに、咲き誇る花とは別の美しさを再認識させてくれたようです。

『詞林』二十一号をお届けします。今回は中古に関する五つの論考を収め、「中古特集号」といつた趣になりました。四本が物語についてのもので、そのうち三本が『源氏物語』に関連するという、特色のある構成となりました。しかし、これは「古代中世文学研究会」の「中世」の部分が抜け落ちた形でもありませんので、次号ではバランスのとれた構成を心がけたいと思います。本号には、胡・カドーの両氏にご寄稿いただきましたが、より広い視野での研究の必要が痛感される昨今にあつては、今後の『詞林』の発展にとつても喜ばしいことといえるでしょう。なお、『うつほ物語』の論を寄せてくれた芦田氏は、今回が初の執筆となりました。本号にも、皆様方の忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、私も本号をもちまして編集委員を退くことになりました。何かと不手際が多く、皆様方に迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。今後とも、皆様のご叱正を賜りますようお願い申し上げます。(中原)

詞林 第二十一号 定価八百円(本体七六二円)

一九九七年四月十五日 印刷

一九九七年四月二十五日 発行

編集兼発行者

大阪大学古代中世文学研究会

〒560 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学文学部国文学研究室内

代表者 伊井 春樹

電話 (〇六) 八五〇―五二二―

FAX (〇六) 八五〇―五二二―

振替 〇〇九七〇―一―三二〇三六五

印刷 日本電植株式会社

発売 和泉書院

〒543 大阪市天王寺区上汐五―三―八

電話 (〇六) 七七二―一四六七

FAX (〇六) 七七二―一五〇八

振替 〇〇九七〇―一―一五〇四三